

烏木

本の衆となづけられ、わろき連歌をば栗の本の衆となづけられ、侍りき、

〔大和本草雜木十二〕烏木ウツク 國俗紫檀ニ對シテコクタント云、檀木ニハ非ズ、色黒ク堅シ、器ニ作ルベシ、

本艸綱目喬木類ニアリ、時珍云、有間道者歟木也、是ワカキニハスデアル也、此木モ亦日本ニナシ、

〔和漢三才圖會喬木八十三〕烏木 烏楠木 烏文木 俗云古久太牟略中

按、烏木出於雲南廣東、其性堅實黑色、類于角、俗謂之黑檀、以爲白檀紫檀等之類、非也、檀見于香木下

〔重修本草綱目啓蒙喬木二十四〕烏木 コクタン 一名檠木正字 急木音焦 闌木共同 角烏廣東新語

和産ナシ、廣東ヨリ舶來ス、唐山ニハ大坭暹羅占城真臘ヨリ來ルト云、今器物及箸ニ作ル者是ナ

リ、木色黒クシテ、カ栝心黒木ニ似テ、質堅シ、俗ニコクタント呼ベドモ、白檀紫檀ノ類ニ非ズ、シロキ

筋雜ル者アリ、スジコクタント云フ、コレハ嫩木ナリト集解ニ云リ、之ヲ間道烏木ト云、中山傳信

録ニ烏木葉如桂直上、外與常木不異、中心木質黑色、然亦有白理者ト云、

〔南島志上物産〕黒木即會典所謂烏木也、蘇鐵即琉球録所謂鳳尾蕉、其野生則不如栽在、

鐵刀木

〔書言字考節用集六生植〕鐵刀木タガヤサン

〔和漢三才圖會喬木八十三〕鐵樹 鐵刀木 俗云太加也左牟桃椰木亦名鐵樹、與此不同

木本畫譜云、鐵樹産廣中、色儼類鐵、其枝了穿結、甚有畫意、又聞有鐵樹花、葉密而花紅、想亦一種也、

按、鐵刀木今出於廣西、木紫黑、密理爲器甚美貴重之、

〔昆陽漫錄〕鐵樹

搗鴨曉筆に、鐵樹搗鴨曉筆は一條の禪閣のこといかやと云ふ木を載せたり、今も薩摩の邊にあるにや、その

文左の如し、

予九州を徘徊せし時薩摩にて見侍りし鐵樹といふ木侍り、三四尺より高きはなし、葉も莖も

鶏頭花に似て、それよりはからびて、誠の鐵のうち枝の様なり、花は女郎花などのやうにて、一